

カルレヴァー口奏法実践講座とパルス・トレーニング講座

❖ 講座の概要 いずれの講座も受けたい回だけの参加が可能、定員20名

講師：谷辺昌央

カルレヴァー口奏法実践講座：受講料 1回3,000円、聴講料 1回2,500円

最小限のエネルギーでギターを弾きながら深い音色を作っていきます。使用テキスト「カルレヴァー口技巧教本第2巻～4巻」
※各回の課題はホームページ上で告知します。

パルス・トレーニング講座：受講料1回2,000円

音楽的な「脈」「鼓動」であるパルスを身につけるための具体的なトレーニングを行います。ギター以外の楽器の方も歓迎です。
使用テキスト「リズムの基礎」呉 暁/桐山晴美 著 音楽の友社 ※各回の課題はホームページ上で告知します。

※1日で2講座受講または聴講の場合：受講料・聴講料はともに1回4,000円

マスタークラス：1時間の個人レッスン。受講料1回 11,500円、聴講料 1回1,000円

❖ スケジュールとカリキュラム 開催日、会場は変わることがあり、2カ月前までにご案内いたします。

	月日・会場	カルレヴァー口奏法実践講座 13:00～14:30	パルス・トレーニング講座 15:00～16:30	
第1回	2015年1月11日(日) 西宮中央公民館	構え方 肩、肘、手首の脱力体操 手のアーチ型構造の利用	ウィンナワルツのパルス メトロノームを使って体の中に パルスを作る	17:00 }
第2回	2015年2月 西宮中央公民館(予定)	腕の重さを利用した左手の ポジション移動	アルハンブラの思い出を支える 立体的な3拍子 身体と音楽を支える大黒柱のパルス	各 回 マ ス タ ー ク ラ ス あ り
第3回	2015年3月 西宮中央公民館(予定)	右腕の重さを弦に伝え響きを つかむ和音、アルペジオ	「禁じられた遊び」に使われている 黄金分割のパルス 4拍子を立体的にするポイント	
第4回	2015年4月 西宮中央公民館(予定)	腕で弾く下降スラー	「蛍の光」に聴くヨーロッパと日本の アウフタクトの違い タンゴのアウフタクト 音符の長さや重さの関係	
第5回	2015年5月 西宮中央公民館(予定)	腕の重さを使った上昇スラー 右手の移弦	シンコペーションとパルス 不安定な2拍子を安定させる方法	
第6回	2015年6月 西宮中央公民館(予定)	総まとめと高度な応用編	総まとめ カルレヴァー口教本を使った 応用トレーニング	

❖ お問い合わせ／お申し込み

カルレヴァー口奏法実践講座実行委員会

古橋充吉 mitsu.furuhashi@fuga.ocn.ne.jp

渡邊信行 maf01557@mars.dti.ne.jp



谷辺昌央

Tanibe Masao

名古屋生まれ。酒井康雄、鎌田慶昭などの各氏に師事。1995年東京大学在学中に東京国際ギターコンクール最高位。1999年よりケルン音楽大学にてR・アウセルに師事し、首席卒業。カールスルーエ音楽大学にて国家演奏家資格取得。2004年ゲーベルスベルク国際ギターコンクール1位、2005年ホセ・トーマス国際ギターコンクール首席、など入賞歴多数。2005年ワシントンDCのケネディーセンターにてアメリカデビュー。ドイツ、アメリカ、スペイン、日本などのオーケストラと共演多数のほかNHK・名曲リサイタル、東京オペラシティ、宗次ホールでのリサイタルなど活発に演奏活動を行う。

カルレヴァーロ奏法実践講座について

カルレヴァーロ奏法はウルグアイのアベル・カルレヴァーロが開発したクラシックギターのためのメソッドで、今日では数多くのギタリストに取り入れられています。彼に習った著名なギタリストにはアルバロ・ピエツリ、エドワルド・フェルナンデス、ロベルト・アウセルらがいます。彼らはカルレヴァーロ奏法を取り入れながら、独自のアプローチでそれを発展させています。私がドイツのケルン音大でロベルト・アウセルに師事して学んだカルレヴァーロ奏法は、一言で言うと自分の出した音を出すためのテクニックです。通常ギターの音色は右手のタッチで決まると思われがちですが、カルレヴァーロ奏法では左手のポジション移動、スラーといった基本技術そのものによって、深く暖かい音色を作ることが出来ます。右手も肩から腕全体をいかに効率よく使い弦にその重さをうまく乗せてやるかなど、最小限のエネルギーでギターを弾きながら深い音色を作っていきます。またそれらは同時に無駄な身体の緊張を解く脱力のためのテクニックでもあり、疲労の蓄積や腱鞘炎などの予防にもなります。

パルス・トレーニング講座について

パルスとは音楽的な「脈」「鼓動」です。強靱なパルスを持った演奏はパルスがはっきりと聴衆に感じられます。これはジャズでは当たり前のことです。レオンハルト、ピアソラ、グールド、フルトヴェングラー、プリーム、アウセルらの音楽には強靱なパルスに乗った彼らの音楽が、怒涛のごとく心に流れ込んでくるのを感じます。パルスは内的な指揮者のように演奏者を支えるので、自由さと同時に緊張する時にも安心感を持って演奏する事ができます。また、パルスは聴衆の中にも入って来て、演奏者と聴衆の間を結びつけてくれます。この講座では、そんなパルスを身につけるための具体的なトレーニングを行います。ギター以外の楽器の方も歓迎です。

その他ご案内

- 会場は阪急西宮北口駅前の西宮中央公民館、新大阪駅前の青少年センターなどを予定。
- 予約の関係で会場・実施日の確定は講座の2～3ヶ月前になります。日程が確定しましたら、お申込み希望者へメールでお知らせします。
- 各講座、マスタークラスとも受けたい回だけの参加が可能です。
- 受講される方はギター、足台、譜面台をお持ちください。
- 受講料、聴講料は当日会場でお支払い下さい。
- 主催 カルレヴァーロ奏法実践講座実行委員会

<申込先・問合せ先(実行委員)>

古橋充吉 mitsu.furuhashi@fuga.ocn.ne.jp

渡邊信行 maf01557@mars.dti.ne.jp

予定会場地図



西宮中央公民館(西宮市高松町4-8プレラ西宮内)